

長岡市都市景観基本計画の改訂について

1 改訂の理由

川口地域の合併に伴い、各地域の魅力ある景観特性を生かした景観形成を推進し、良好な都市景観の形成を計画的かつ総合的に推進するため、長岡市都市景観条例第8条に基づき、長岡市都市景観基本計画の改訂を行うもの。

2 主な改訂事項

川口地域の景観特徴を、基本計画の具体的な記述におりこみ、あわせて、編入地域における地域景観マップ及び眺望景観マップを作成する。

3 今後の予定

長岡市都市景観条例第16条に基づき、川口地域においても、一定の規模以上の建築物、工作物、広告物、土地の形質の変更などの「景観影響行為」を行う際に届出が必要となることから、事業者向けの説明会を開催し、周知を図ることにしたい。

序章 都市景観基本計画の 目的と構成

序章 都市景観基本計画の目的と構成

1 目的

「長岡市都市景観基本計画」は、優れた長岡の都市景観を「守る」「育てる」「つくる」ために必要な事項を定めた「長岡市都市景観条例」(平成13年長岡市条例第16号)第8条に基づいて、長岡の都市景観特性を明らかにし、良好な都市景観の形成を計画的かつ総合的に推進するために策定するものです。

この基本計画は、長岡の良好な都市景観の形成に関する施策を体系化して、基本的な事項についてその方向性を示し、市民・事業者・行政の認識の共有化を図るとともに、都市景観形成に取り組む際のガイドラインとしての役割を担うことを目的としています。

2 構成

この基本計画は、次の3章で構成されています。

第1章 都市景観形成に関する基本的事項

都市景観の概念、必要性などの基本的な考え方を示したうえで、長岡の都市景観形成の基本テーマ、基本目標、基本姿勢などを明らかにします。

第2章 都市景観基本計画

長岡の都市景観を形作っている現況の景観要素(地形・自然・歴史等)をベースに、市民が期待する市の将来都市像を重ね合わせ、都市景観の目標とすべき将来像を示します。また、類型別に対象、現況、課題を整理し、都市景観形成の基本方針、施策の方向を示します。

第3章 都市景観形成の実現に向けて

第2章で示した都市景観基本計画の実現のための手法と方策を示します。

第1章 都市景観形成に関する 基本的事項

第1章 都市景観形成に関する基本的事項

第1節 都市景観の概念と都市景観づくりの必要性

1 都市景観の概念

(1) 景観とは

「景」とは山、川、田、街並みといった風景や景色のことです。

「観」とは、これらを人が観る行為を表します。

ですから「景観」とは視覚に映る眺めを意味するだけでなく、それをきっかけにして形成される人々の印象を表す言葉です。したがって「景観」は、水や空気などと同じように環境の一つの構成要素であり、人間の精神面にも影響を与えるものといえます。

(2) 都市景観とは

都市景観とは、道路、橋、建築物といった建造物の造形的な都市環境だけでなく、都市を包む自然環境や地域に住む人々の日々の生活や歴史、伝統の結果として映し出されたもの、また雰囲気といった都市の情景をも含み、それらを構成要素として表現されるものです。

良好な都市景観は、まちの自然、歴史や文化と建造物などの調和を大切にする気持ちから生まれるものであり、いわば都市景観は市民共有の財産ともとらえることができます。

2 都市景観づくりの必要性

(1) 市民生活環境の向上

今日、私たちは物質的な豊かさばかりでなく、心の豊かさやゆとりで満たした暮らしを求めているようになってきています。

こうした意識の変化は、個々の住まいのつくり方はもとより、地域のまちづくりにも向けられ、誰にとっても生活しやすい環境づくり、自然と共生するまちづくりといった形で表れてきています。

長岡市のまちづくりにおいては、自然や歴史と文化を生かした個性あるまちなみの形成が求められており、真の豊かさが感じられるまちの実現のためには、都市景観に配慮した整備が必要です。

(2) コミュニティの活性化

良好な都市景観の形成には、単に都市空間の整備だけでなく、市民・事業者・行政が共に手を取り、それぞれの役割を分担し、快適な環境づくりや都市景観づくりを推進することが必要です。このことが、コミュニティの活性化を促し、地域への親しみや愛着を生み、誇りの持てる社会を育てることにつながります。

(3) 次世代へのまちの継承

少子・高齢化が進む中、まちの維持・発展には、子や孫、新たに住む人にとって魅力のあるまちとして、自信と誇りを持って継承できるように努めることが、今に生きる私たちの責務といえます。

そのためには、安心・安全なまちづくりを推進することはもとより、自然環境との共生を意識した良好な都市景観づくりを進めることを、長岡のよき伝統として、継承・発展させることが重要となります。

都市景観に関するポイント

- 都市景観は市民共有の財産です
- 市民生活環境の向上には、都市景観に配慮した整備が必要です
- みんなでつくる都市景観は、コミュニティの活性化につながります
- 魅力のあるまちを次世代へ継承することは、私たちの責務です

第1章 都市景観形成に関する基本的事項

第2節 都市景観形成の基本テーマ・目標

1 基本テーマ

悠久の昔から滔々たる流れをたたえ、私たちの心を引き付け、まちに潤いをもたらし続ける大河信濃川。

緑豊かな山々、青く広がる日本海、夏には緑、秋には黄金色のじゅうたんを敷き詰めたような田園を擁する美しい白然に恵まれたまち。

いにしえには火焰土器に代表される高度な縄文文化が開花し、中世には蔵王堂城や栃尾城、与板城、近世には長岡城を中心に発達した歴史あるまち長岡。

このような豊かな水と緑と、かけがえのない歴史をもつ長岡のすばらしさを、市民一人ひとりが再認識し、愛着を持つことが良好な景観づくりのスタートです。

そして、住んでいることに誇りの持てる、個性あるまちの実現に向けて、自然との共生を図りながら、デザインに配慮したまちづくりを心がけていくことが大切です。

そのためには、市民一人ひとりが自覚と主体性をもった景観づくりへの取組みが不可欠です。

以上の観点から都市景観づくりの基本テーマを次のように定めます。

※ デザイン都市
「デザイン都市」とは、「ゆとり」と「うるおい」のある「美しい」環境を創造する都市を指す。なお、「デザイン」の中には、すべての人々にとって快適な生活空間を意図する「ユニバーサル・デザイン」を包含する

自然と歴史を^とと^とび、未来をひらくデザイン都市長岡

～調和と創造による新しいまちづくり～

2 基本目標

基本テーマの実現のため、基本目標を次のように掲げます。

○ 美しく豊かな自然と調和するまち

美しい景観の地を表す言葉に「背山臨水^{はいざんりんすい}」という言葉があります。これは古くから東洋に伝わる表現で、背後に山を置き、前方に水面を臨む、眺めの良い土地をいいます。

長岡は、まさに背景となる東西の山々、中央を流れる信濃川、雄大な日本海など、美しい都市景観要素を備え、これらが長岡の骨格としてまちを形づくっていますが、これらの都市景観要素と調和したまちづくりを目指していきます。

○ 歴史・文化を育んできた原風景の保存・継承

長岡は二度の戦災により歴史的な建造物は少なくなりましたが、「城下町としての面影を残す趣き」「故郷を感じる田園・集落の原風景」「白一面に包まれた美しい雪景色」などは、長岡らしい都市景観を表しています。これらを大切に、次世代への継承を目指します。

○ 新しい時代に対応するデザイン性に富む、活力のあるまち

歴史的景観資産の少ない長岡では、これから造るものが、後に景観資産となり得るという視点に立ち、「商業地では賑わいや活気」「住宅地では落ち着きと調和」といった市民のニーズ（要求・需要）にこたえるため、地域の特性に配慮し、デザイン性に富んだ建築物などによる魅力あるまちなみの創造を目指します。

○ 自由で活発な活動の場の創出

人々の活動や暮らしも都市景観を構成する大事な要素です。

各地域には祭りや伝統芸能などが豊かに息づいており、まちの活力を支えています。また、人々の各種の活動や交流もいきいきしたまちの情景を形づくっています。このため、こうした自由な活動を支える場の拡大、創出に努めます。

○ 個性を生かした愛着と誇りの持てるまち

都市景観を構成する主要な要素は、個々の建築であり、市民や事業者の個々の活動です。したがって良好な都市景観の形成のために、地域の人々が都市景観づくりに参加し、個々の活動レベルから都市景観への配慮を進めることが必要です。

都市景観を意識した活動を通して、地域住民の合意による都市景観づくりを進め、地域の個性を生かし、愛着と誇りの持てるまちづくりを目指します。

○ 中山間地域における震災からの復興

中越大震災によって大きな被害を受けた中山間地域の景観は、人の営みと豊かな自然との調和によって生み出された「日本の原風景」とも言うべき貴重な財産です。

この地域における景観の再生については、市民・事業者・行政が連携し、地域固有の風土と調和した景観づくりに努めます。

第1章 都市景観形成に関する基本的事項

第3節 都市景観形成に取り組む基本姿勢

良好な都市景観を形成するため、次の4点について市民の一人ひとりが理解し、意識を高め、主体的な行動をとるとともに、行政も一体となった取組みが不可欠です。

1 対象となる領域は

都市景観は、市民の共有する財産であり、都市景観への配慮は、自分たちの住むまちを快適なものとするためにも大切なことです。

そのためには、道路や河川などの公的な領域だけでなく、これらと接する民間の建築物の屋根・外壁をはじめとする前庭・塀・生垣などの境界領域の都市景観が重要な役割を担います。

このような境界領域は、所有や管理の形態は私的なものですが、都市景観の形成上きわめて公共性の高いことから、準公共的空間としてとらえ、都市景観形成の対象領域として位置づけます。

なお、都市景観基本計画の対象範囲は、長岡市全域（平成18年10月1日より合併地域を含む）です。

2 都市景観形成の視点を大切に

都市景観の形成は、まちを美しく整えるとともに、都市空間にゆとりと潤いをもたらすため、次のような視点を持って取り組みます。

(1) 守る (保全)

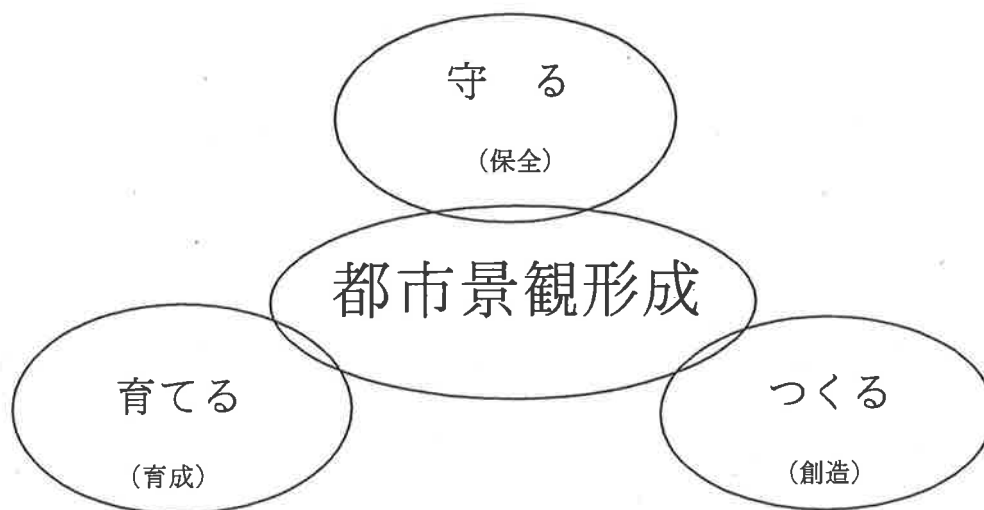
長い年月の積み重ねの中で培われ、まちに個性と潤いを与えている歴史的環境や自然など優れた都市景観資源を保全し、継承するように努めます。

(2) 育てる (育成)

それぞれの地域固有の景観特性を生かしながら、さらに良好な都市景観を形成するため、地域の都市景観づくりに取り組む団体等の育成に努めます。

(3) つくる (創造)

新たな魅力ある都市空間の創造は、良好な都市景観を形成するうえで重要なため、各地域の景観特性に十分に配慮した整備に努めます。



3 みんなでつくる(市民・事業者・行政が一体となって)

良好な都市景観の形成は、市民・事業者・行政が一体となって取り組む必要があります。そのためには、それぞれの役割を理解することが基本となります。

市民・事業者は、自らの生活・企業意識や価値観がゆとりと潤いのあるまちづくりを支えることを理解し、建築等の行為に際し、まちなみや公的な空間との調和に配慮することが大切です。

また、行政は、横断的に部局間を調整し、公的な空間の整備を通して、都市景観形成の先導的役割を果たすとともに、市民・事業者を誘導・啓発することが大切です。

こうした相互の協力関係を深め、市民・事業者のより主体的な活動(市民参加)を促進することによって、良好な都市景観の形成を図ります。

4 計画的に進める(総合的・長期的な視点から)

都市景観の形成は、都市空間を構成する全てのものが対象であるため、事業主体も多様で、関係する法律も多岐にわたっています。

また、都市景観の形成は、単一の事業のように完結するものではなく、長い歳月を要するものです。

そのため、取り組みにあたっては、総合的・長期的な観点にたち、計画的に進める必要があります。

したがって、計画の期間については目標年次等の設定は行なわず、上位計画や関連計画との整合性を保ち、時間の経過によって生じる人々の価値観の変化にも柔軟に対応した体制で取り組みを進めます。

都市景観形成に取り組む基本姿勢のポイント

- 対象となる領域は、公的領域と境界領域です
- 景観形成の視点は、「守る(保全)」「育てる(育成)」「つくる(創造)」です
- 都市景観は、市民・事業者・行政が一体となって、みんなでつくります
- 都市景観の取り組みは、総合的・長期的な観点から、計画的に進めます

第2章

都市景観基本計画

第2章 都市景観基本計画

第1節 都市景観基本計画の考え方

長岡市が目指す都市景観目標を実現するための方策は、景観特性が全市一様でないことから一律に論ずることはできません。

そこで長岡の都市景観概要を、前章までの基本的な考え方を踏まえ『眺望景観』と『地域景観』に大別し、更に類型別に「対象要素」の「都市景観の現況」と「都市景観上の課題」を整理し、「基本方針」及び「施策の方向」を明らかにします。

1 眺望景観

眺望景観とは、山頂や橋の上などから市街地を望んだり、美しい棚田を眺めたりすることです。

眺望景観は、都市を印象づけ、その輪郭や全体像などを示し、都市への親しみや愛着を深めてくれます。

2 地域景観

地域景観とは、自然・住宅・商業・工業などの土地の利用状況などによって表される地域特性であり、それぞれの地域の性格や広がり等の特性により分類されます。

本計画書では、地域景観を、「地区景観(面)」「軸景観(線)」「施設景観(点)」「その他景観」に分類し、類型別に都市景観基本計画を定めます。

(1) 地区景観(面)

地区景観は、土地利用の将来像を基本に、自然や、土地の利用状況などの観点から、「自然景観」「海浜景観」「住宅地景観」「商業地景観」「工業地景観」「業務地景観」「田園・集落景観」の7つに分類します。

(2) 軸景観(線)

線的に構成されている主要道路、河川等については、軸景観としてとらえ、「交通軸景観」「河川軸景観」に分類します。

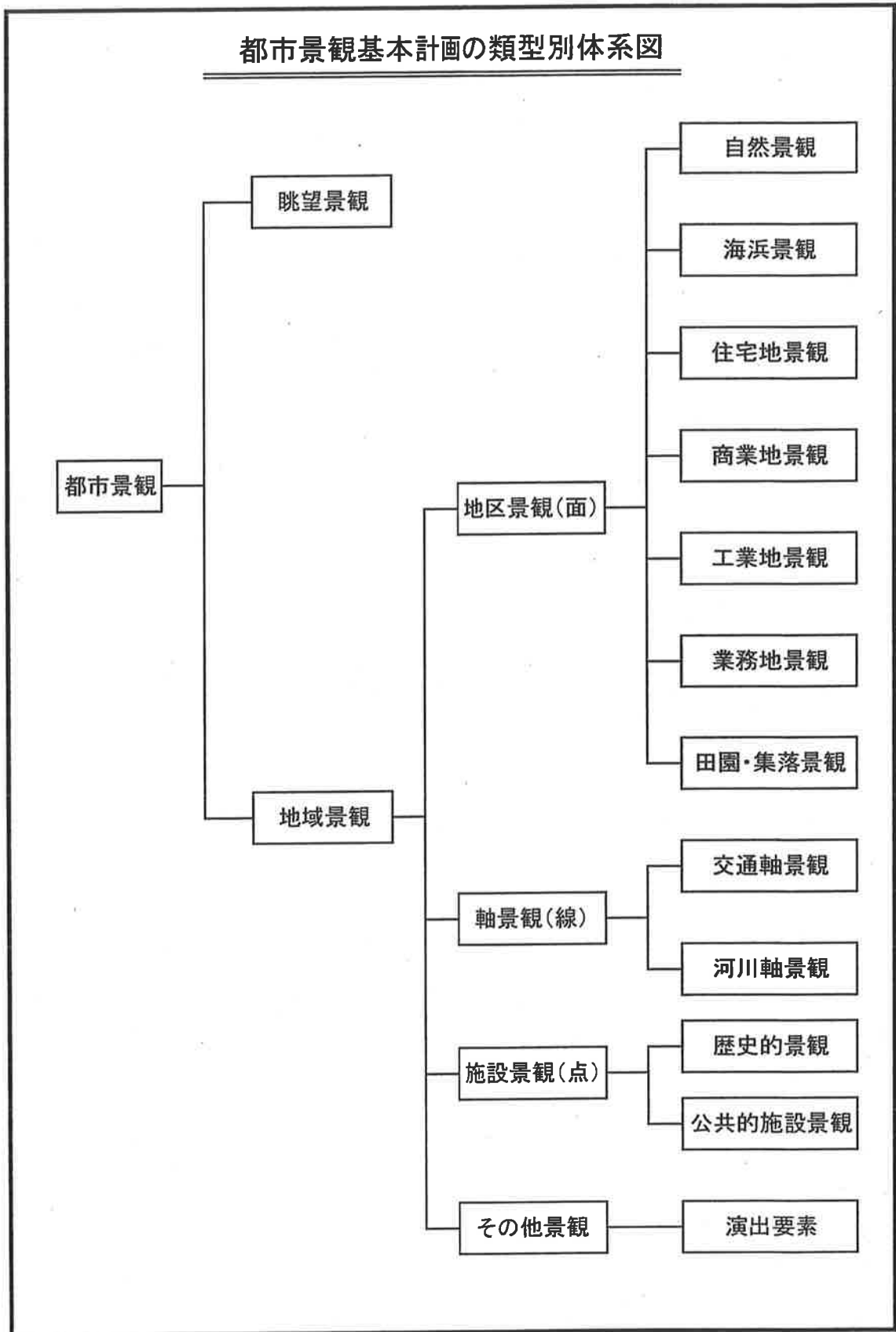
(3) 施設景観(点)

主要な歴史的資産や公共的施設は、施設景観としてとらえ、「歴史的景観」と「公共的施設景観」に分類します。

(4) その他景観

「その他景観」としては「演出要素」が挙げられます。

「演出要素」とは、景観に彩りやアクセントを与えるもので、屋外彫刻や看板などの路上施設が考えられます。



※ 眺望景観及び地域景観は、別冊のマップを御参照ください。

※ 景観マップは、おおよその目安を示していますので、活用にあたっては現地をよく御確認ください。

第2節 都市景観基本計画

1 眺望景観

【対象要素】

- 眺める対象となるもの(守門岳、東山連峰、西山丘陵、弥彦山、日本海、信濃川、水道タンクなど等のランドマーク施設)
- 市街地を見下ろす場所(八方台、南蛮山、枋尾城跡など)
- 市街地から市全体を見渡せる場所(信濃川の堤防上など)
- 山や海などの雄大な自然や美しい田園・棚田を一望できる場所(杵形山自然公園、日本海夕日ラインなど)

【都市景観の現況】

- 長岡の代表的な眺望景観として、緑豊かな山々や青く広がる日本海を眺める景観があり、四季ごとの季節感を感じさせ、潤いと安らぎを与えてくれます。
- 八方台などからの市街地を見下ろす眺望は、まちの広がりがわかります。
- 長生橋、水道タンクなどのランドマーク施設は、長岡を象徴するものです。

【都市景観上の課題】

- 東山連峰や西山丘陵などでは、土取りや各種開発などにより、良好な眺望が損なわれています。
- 市街地では高層建築物などの出現により、信濃川堤防上からの眺めを遮っています。
- 市街地を見下ろすことのできる場所は、良好な眺望ポイントとしての整備が遅れています。
- ランドマーク施設の保存と、その周辺の整備が求められています。
- ランドマーク施設への眺望を妨げないような配慮が求められています。

【基本方針】

- 長岡の都市景観の背景である東山連峰、西山丘陵などの保全
- 市街地からの眺望ポイントの整備
- 高層・大規模建築物等が眺望景観に与える影響への配慮
- 市街地を見下ろす眺望ポイントの保全・整備
- ランドマーク施設の保全・活用

【施策の方向】

- 東山連峰や西山丘陵などでの土取りや大規模開発後には、緑地の復元を図ります。
- 八方台や南蛮山、信濃川の堤防上などの眺望ポイントの整備にあたっては、それぞれ周辺との環境との調和を図ります。
- 眺望景観に大きな影響を与える高層・大規模な建築物、工作物、広告物、高架道路などは、位置、規模、形態、色彩などについて、周辺の都市景観と調和するように誘導します。
- ランドマーク施設は保全し、更に長岡のシンボルとなるように努めます。

※ ランドマーク
土地の標識や地理的な象徴となる自然物や施設などを指す。自分のいる位置の確認やその都市の景観を考える上で重要なもの

2 地域景観

2-1 地区景観

(1) 自然景観

【対象要素】

- 守門岳・弥彦山・東山連峰・西山丘陵などの自然
- 信濃川、魚野川の自然
- 中山間地域の棚田や棚池

【都市景観の現況】

- 市の東西に位置する山々は、広大で豊かな緑地帯で、都市景観の背景であり、また、市民に潤いや、やすらぎ、里山の恵みをもたらしています。
- 中山間地域には、棚田や棚池が作られ、人の営みと豊かな自然が見事に調和した農山村の原風景が広がっています。
- 信濃川や魚野川は、多数の動植物が生息する自然豊かな川で、市街地の中の重要な都市景観資源です。

【景観上の課題】

- 東山連峰・西山丘陵などは、土取りや開発などにより、緑地の後退が生じています。
- 自然景観から突出した大規模なホテルや工場などの立地により、東山連峰・西山丘陵などの良好な眺望が阻害される恐れがあります。
- 信濃川や魚野川の貴重な自然をできる限り残すことが望まれています。
- 一部地域においては、高齢化による耕作放棄や中越大震災の被害による耕地の陥落などによって棚田の荒廃が進み、美しい棚田の風景が失われているところも見受けられます。

【基本方針】

- 東山連峰・西山丘陵などの緑地の保全及び育成
- 自然景観との調和に配慮された建造物への誘導
- 自然に配慮した信濃川、魚野川の整備
- 中山間地域における棚田や棚池の保全

【施策の方向】

- 東山連峰・西山丘陵などでは、緑地の保全を最優先に考え、開発は極力抑制します。ただし、開発を行わなければならない場合には、地形を生かした最小限の規模に止どめ、周辺の緑地にとけこむように配慮し、緑地の修復に努めます。
- 特に土取りに際しては、事業終了後、植林がしやすい土地の形状を残し、速やかに郷土種を植林するように努めます。
- 自然景観に大きな影響を与える開発行為等は、周囲への影響を少なくするように誘導します。
- 大規模建築物などを建てる際は、自然景観との調和に配慮された意匠や色彩にするよう誘導します。
- 信濃川や魚野川は、できる限り自然な川の姿を生かした整備に努めます。
- 地域ぐるみの営農体制の確立や定年帰農者の受け入れなどより、耕作放棄地の解消に努め、美しい棚田の景観を守ります。

(2)海浜景観

【対象要素】

- 日本海、砂浜など

【都市景観の現況】

- 南北に長く続く海岸線の随所には、眺望スポットや海浜公園、海水浴場が整備されています。
- 中央部から北部にかけての砂浜の幅が広い所では、防砂のための保安林が続き、海の青さと松の緑が特徴ある海辺の景観を創出しています。
- 北部末端の海岸線は切り立った崖や変化に富んだ海岸が続き、国定公園に指定されています。

【景観上の課題】

- 波消ブロックなどにより、海岸を無機質なものにしていくところが見受けられます。
- 地域の人々や観光客の憩いの場となるような眺望スポットや海浜公園の環境整備が求められています。

【基本方針】

- 眺望景観に配慮した海岸の整備
- 眺望スポットや海浜公園の環境整備

【施策の方向】

- 海岸の良好な眺望を保つため、海岸整備の事業主体である県と協議し、景観に配慮した海岸整備に努めます。
- 眺望スポットや海浜公園の環境整備では、緑地を多くし、市民や観光客の憩いの場になるよう配慮します。また、建物や工作物を造る際は、海浜景観との調和に配慮します。

(3) 住宅地景観

【対象要素】

- 住宅地域、住宅地域内の商店街

【都市景観の現況】

- 古くからの住宅地域では、狭あいな土地に木造住宅が密集していましたが、近年、非木造の住宅が目立つようになってきました。
- ~~新しい建築様式として、~~高床式や自然落雪式等の克雪住宅が増えてきています。
- 長岡ニュータウンでは、長岡の新しい住宅地景観を形成しています。
- 古正寺地区や~~土地区画整理事業区域内~~や前川東地区では、自らまちづくり協定をつくり、屋根や外壁の基調色を定めたり、緑化に努めたりしています。
- はなみずき団地内では、区画ごとに地域の花木であるハナミズキが植えられています。建物の壁面の位置を合わせるなどの地区計画を定め、美しいまちなみづくりや緑化に努めています。
- 住宅地域内の商店街は、建物の壁面の位置が統一され、連続したまちなみが形成されています。

※ 克雪住宅
屋根雪や家屋周辺の雪処理、雪下ろしのいない住宅

【都市景観上の課題】

- 低層住宅街に~~中高層の工場や共同住宅~~が増え、まちなみの統一感が薄れてきています。
- 密集した住宅地域では、敷地内の樹木が少なく、全般的に潤いに欠けています。
- 住宅地域内の商店街では家並みが途切れ、まちなみの連続性が失われているところも見受けられます。

【基本方針】

- それぞれの地域の特性に応じた住宅地景観の形成

【施策の方向】

- 住宅地域の高層・大規模な建築物等は、位置、形態、色彩等の指針により、周辺の都市景観と調和を図ります。
- 都市景観協定などの市民主体の都市景観形成活動を支援します。
- 地区計画、建築協定、緑化協定等により、地区の特性を生かし、良好な都市景観整備に努めます。
- 宅地開発は、道路、公園、区画割り、宅地規模などにおいて、ゆとりのある住宅地景観が形成されるように誘導します。

(4) 商業地景観

【対象要素】

- 中心市街地（長岡駅周辺都心地区）
- 郊外型商業地
- 魚の市場通り

【都市景観の現況】

- 中心市街地は、~~アーケードの改築・地下駐車場・シンボルロードが完成し、今後も新たなまちなみが形成されようとしています。~~中心市街地では、アオーレ長岡をはじめ再開発事業が進み、新たな「長岡の顔」としてのまちなみが形成されています。
- 郊外型店舗の集積する地域では、大型の看板や大規模な駐車場が周囲の都市景観を大きく変化させています。
- 魚の市場通りでは、原色の多用や大きな広告物を掲げた店舗が軒を連ね、にぎわいや活気のある特徴的な景観を演出しています。

【都市景観上の課題】

- 中心市街地は、長岡の顔として特に良好な都市景観の形成が望まれています。
- 中心市街地の空閑地の多くが駐車場に転用され、まちなみの連続性が途切れています。
- 郊外型商業地においては、各々の店舗等の多様性は維持しつつも、区域として統一感のある都市空間の形成が望まれます。
- 魚の市場通りでは、住宅地に近いため、特に色彩や形態についての配慮が求められます。

【基本方針】

- にぎわいや活気のある中心市街地景観の形成
- 周辺と調和した魅力ある商業地景観の形成

【施策の方向】

- 中心市街地では、空き店舗の解消や電線類地中化などに努め、長岡の顔づくりを推進します。
- にぎわいのある繁華街の創出のため、ショーウィンドーやシースルーシャッターなど、店構えにデザイン性を取り入れ、また、ポケットパークやモールなどを整備することにより、魅力あるまちなみの形成を図ります。
- 中心市街地の再開発等に当たっては、長岡の顔となるように誘導します。
- 郊外型商業地においては、都市景観協定、地区計画、建築協定、緑地協定などの制度を活用し、周辺と調和した都市景観形成に努めます。
- 郊外型店舗では、駐車場を中心に敷地内緑化の推進に努めます。
- 魚の市場通りでは、通りににぎわいや活気を与えるような店構えを維持しつつも、住宅地に配慮した色彩や形態となるよう誘導します。

※シースルーシャッター
透けて中が見えるシャッター

※ポケットパーク
橋詰や沿道に整備された小公園

※モール
ここでは、商店街などにおける歩行者優先道路のこと

(5) 工業地景観

【対象要素】

- 北部工業地帯
- 長岡工業導入団地
- 南部工業団地
- 雲出工業団地
- 西部丘陵東地区
- 北荷頃工業団地
- 江東工業導入団地
- 中之島工業団地 など

【都市景観の現況】

- 製造業を中心に集積している各工業団地は、建物の形状が画一的なため、無機質な印象を与えます。特に緑化への配慮が少ない所では、なお一層その傾向が強くなっています。

【都市景観上の課題】

- 工業団地のなかには、建築や緑化に関する協定や地区計画などにより、良好な都市景観の形成をしているところが見られます。しかし、無表情で大規模な建築物もあり、また緑が少ないことから、全体的に潤いに欠ける都市景観が目立ちます。

【基本方針】

- 周辺と調和した工業地景観の形成

【施策の方向】

- 工業団地内の街路緑化や、敷地内の緑化推進に努めます。
- 大規模な工場や倉庫は、周辺と調和する配置、形態、色彩等について配慮します。
- 新たに工業団地を整備する場合は、都市景観協定、地区計画、建築協定、緑地協定などの制度を活用し、周辺と調和した都市景観形成に努めます。

(6) 業務地景観

【対象要素】

- 新産業センター地区
- 中之島流通団地
- 千秋が原地区
- ~~ネオトピア長岡地区~~
- 良寛の里わしま
- 寺泊港
- オフィス・アルカディア地区
- ~~長岡操車場地区~~長岡防災シビックコア地区
- その他の研究開発、高等教育機関 など

【都市景観の現況】

- 新産業センター地区は、建築協定、~~緑地協定~~により景観上一定の秩序を保っており、流通業務施設の集積地としての都市景観を形成しています。
- 中之島流通団地は緑化率が低く、全体的に潤いに欠けた印象を受けます。
- 千秋が原地区北側では、長岡リリックホール、県立近代美術館、ハイブ長岡などのシンボリックな文化・交流施設が集中し、個性的で、かつ全体として調和のとれた都市景観を形成しています。
- 千秋が原地区南側では、地区計画で建築物の用途制限や緑化率を定めることで、良好なまちなみを形成を**目指**しています。
- ~~長岡操車場~~長岡防災シビックコア地区では、防災シビックコア計画に基づき、官公庁施設や防災公園を整備する際には、緑化への配慮や建物の形態や色調に統一感を持たせることが定められています。
- 「良寛の里わしま」は、古民家風店舗や美術館などが集積する道の駅であり、建物の外観や緑化に配慮され、落ち着いた趣のある都市景観を形成しています。
- 海の玄関口である寺泊港は、客船や漁船が停泊する港町独特の都市景観を形成しています。

【都市景観上の課題】

- 業務地は、一定以上の規模を有しているため、立地場所に配慮し、エリア内でテーマを定めることにより、調和のとれた都市景観形成を行うことが求められています。
- 中之島流通団地は、新興住宅地に隣接するため、都市景観上十分な配慮が求められています。
- オフィス・アルカディア地区は、長岡ニュータウンの住居地域に隣接するため、都市景観上十分な配慮が求められています。
- 千秋が原地区南側、~~操車場~~長岡防災シビックコア地区、~~ネオトピア長岡地区~~では、今後の整備の際には、都市景観への十分な配慮が求められています。

【基本方針】

- それぞれの地区特性に沿ったテーマとルールによる都市景観形成

【施策の方向】

- 開発や整備にあたっては、都市景観協定、地区計画、建築協定、緑地協定などにより、良好な都市景観の形成に努めます。

(7) 田園・集落景観

【対象要素】

- 農山村地域

【都市景観の現況】

- 郊外に広がる田園は、長岡の代表的な風景であり、自然と人間がつくりだした美しい造形のひとつです。
- 寺社林や屋敷林が多く、緑豊かな環境を形成しています。
- 海岸沿いの集落では、山際と海岸の間の狭いところに住宅が密集して建てられています。

【都市景観上の課題】

- 年々、田園面積が減少し、連続性のある田園景観が失われてきています。
- 田園風景と調和した伝統的建築による住宅が、建替えなどにより少なくなってきました。
- 大規模商業施設や工場などの立地により、良好な田園景観が阻害される恐れがあります。

【基本方針】

- 自然と調和のとれた田園及び集落の景観の保全

【施策の方向】

- 集落周辺での新たな開発では、既存集落との調和を図ります。
- 集落内の屋敷林や生垣、石垣の保全など、田園風景と調和のとれた集落景観の維持に努めます。
- 大規模建築物などを建てる際には、田園景観との調和に配慮された意匠や色彩にすよう誘導します。

2-2 軸景観

(1) 交通軸景観

【対象要素】

- 市の骨格となる広域幹線道路(関越・北陸自動車道、長岡東バイパス、長岡バイパス、長岡東西道路など)
- シンボルロード(長岡停車場線、台町川崎線、駅東歩行者専用道)
- 主要地方道等の幹線道路主要幹線道路(撰田屋町高見線、来迎寺浦線、腰巻根岸線、山田町田井線など)
- 歩行者を主体とした散策道など

【都市景観の現況】

- バイパスは、比較的眺望の良い道路ですが、看板の乱立や緑地の不足が目立ちます。
- 主要な幹線道路では、広告看板等が無秩序に氾濫し、また、歩道上には自転車の放置が目立ちます。
- 主要な幹線道路では、街路樹などの緑が不足しています。
- シンボルロードや歩行者専用道では、ベンチ等のストリートファニチャー等が設置され、良好な都市景観が形成されています。

※ ストリートファニチャー
道に置かれているベンチ、電話ボックスなどの備品の総称

【都市景観上の課題】

- 防音壁等は、外側から見る人の視点にも立った整備が求められています。
- 屋外広告物などの氾濫や過度な色彩により、周辺の都市景観との調和が乱されているところがあります。
- 無許可の簡易広告物や放置自転車が、都市景観を阻害しています。
- 都市に潤いを与えるため、街路樹を整備していく必要があります。
- 身近な歩行者空間であるシンボルロードやホテルロード等の維持にあたっては、市民の積極的な参加が求められています。

【基本方針】

- 快適で、周辺と調和した沿道の都市景観整備

【施策の方向】

- 道路施設は、周囲の都市景観と調和するように配慮します。
- 都市景観阻害要因の除去に努めます。
- 屋外広告物条例の周知・徹底を図ります。
- 計画的に地域に合った道路緑化を推進します。
- 市民参加による沿道景観の向上に努めます。

(2) 河川軸景観

【対象要素】

- 信濃川、魚野川
- 刈谷田川、栖吉川、柿川、太田川、黒川及び渋海川などの信濃川の支流
- 西谷川、塩谷川などの刈谷田川の支流
- 福島江、焼田川、旧黒川沿いなど

※ 親水空間
人が水と親しみ、安らぎを得られる空間

【都市景観の現況】

- 信濃川は、日本一の大河で、大花火大会の舞台としても有名であり、長岡を代表する都市景観のひとつです。
- 市内を流れる中小河川は、身近な川として市民に親しまれ、特に柿川、栖吉川は、親水空間としても利用されています。
- 福島江などの桜並木は、花見の名所として市民に親しまれています。

【都市景観上の課題】

- 信濃川や魚野川沿いでは、広告物等が都市景観に悪影響を与えないように配慮が必要です。
- コンクリートや鉄製護岸による改修により、河川景観を無機質なものにして見受けられます。
- 周辺と調和し、地域の特性を生かした橋りょう整備が求められています。
- 柿川沿いにある平和の森公園のような親水空間の整備が、今後求められています。
- 福島江などの桜並木の保存、育成が必要です。

【基本方針】

- 信濃川、魚野川景観の保全、活用
- 河川環境の改善
- 身近で親しめる水辺空間づくり

【施策の方向】

- 信濃川や魚野川は、長岡を代表する大切な都市景観であることから、保全と整備の調和を図ります。
- 信濃川や魚野川の都市景観を保全するため、川沿いの広告物等の設置を抑制します。
- 信濃川の支流では、自然の生態系に配慮したり、自然を生かした保全、整備に努めます。
- 橋りょうを新設や架け替えする場合は、眺望や地域の特性に配慮した整備に努めます。
- 堤防や河川敷を利用した並木道や散策路等を整備するなど、市民の憩い・交流の空間づくりに努めます。
- 桜の名所として福島江周辺の環境整備、焼田川・旧黒川周辺などの環境保全に努めます。

2-3 施設景観

(1) 歴史的景観

【対象要素】

- 悠久山風致地区、蔵王風致地区
- 長谷川邸、水道タンク及びその周辺
- 撰田屋や関原、与板、本与板の旧街道筋のまちなみ
- 雁木のあるまちなみ
- はちすば通りなど市街の遺跡・史跡及びその周辺

※ 風致地区

都市計画法に基づき、都市の樹林地、水辺地などの良好で自然的な風景を維持するために定める地区のこと。長岡市では、悠久山地区と蔵王地区が指定

【都市景観の現況】

- 縄文時代からの長い歴史と伝統を刻んだ長岡のまちは、二度の戦禍により多くの都市景観資産を失いました。
- 藤橋や馬高などの縄文遺跡群や蔵王堂城址など、歴史的価値の高い都市景観資産が残っています。
- 旧街道筋のまちなみには、昔の長岡の面影が残っています。
- 江戸時代に建てられた豪農の館「長谷川邸」は、歴史的価値の高い重要文化財です。
- 撰田屋の旧三国街道や和島地域のはちすば通りでは、住民が主体となったまちなみの整備が進められています。
- 水道タンクは、長岡を代表する近代化遺産として、広く市民に親しまれています。
- 道路沿いに密接して建てられている住宅などの軒下には、昔から受け継がれている雪国の生活様式である雁木が残っています。
- 魚野川の「やな場」は地域固有の個性ある景観のひとつです。

【都市景観上の課題】

- 風致地区内の歴史的景観資産が損なわれつつあります。
- 藤橋や馬高などの、歴史的価値を持つ都市景観資産の整備を進める必要があります。
- 旧街道筋のまちなみや雁木の連なりが、建て替え等により失われつつあります。
- 近代化遺産が、時の経過に伴い減少してきています。

【基本方針】

- 歴史的景観資産の保全、整備
- 歴史的景観資産を軸とした風格のあるまちなみづくり
- 近代の優れた建造物の発掘、保全

【施策の方向】

- 文化財、伝統的な建造物などの保全に努め、特に重要な建造物等は、「都市景観重要建築物等」に指定します。
- 歴史的な建造物の残る道筋において新たに建築等を行う際には、周辺の都市景観と調和するように誘導します。
- 歴史的景観に大きな影響を与える大規模な建築物等は、位置、形態、色彩等の指針により、良好な都市景観の形成へ誘導します。
- 近代化遺産の積極的な発掘に努め、価値ある資産は、その保存について検討します。
- 長岡の代表的景観である雁木の保全方法について検討します。